



ブロッコリーがおよそ半世紀ぶりに仲間入り 「指定野菜」に注目 「ネクスト指定野菜」 & 「もっと食べたい野菜」ランキング

『ホットペッパーグルメ外食総研』が主催する「トレンド座談会」レポート

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）の外食市場に関する調査・研究機関『ホットペッパーグルメ外食総研』は、外食のプロフェッショナルを集め、外食トレンドを発表するための「トレンド座談会」を開催しています。今回は「指定野菜」について、20代～60代の男女1,035人にアンケート調査を実施した結果をレポートします。

(n=1,035/複数回答)

■次に「指定野菜」へ昇格しそうな「特定野菜」

1位は「かぼちゃ」

2026年度から「指定野菜」にブロッコリーが追加されます。この「指定野菜」とは消費量が多く国民生活上の重要性が高い品目として国が位置づける制度で、「指定野菜」に準じるものに35品目ある「特定野菜」があり、「ブロッコリー」がこれに該当します。そこで今回は「ブロッコリーを除く34品目の「特定野菜」から次に「指定野菜」へと昇格しそうだと思うものはどれですか？」という質問をしました。結果は1位「かぼちゃ」36.7%、2位「サツマイモ」31.9%、3位は「ごぼう」25.8%という順になりました。

※ランキングからは「この中にあてはまるものはない」を除外

次に「指定野菜」へ昇格しそうな「特定野菜」ランキング					
順位	野菜	%	順位	野菜	%
1	かぼちゃ	36.7	18	水菜	6.5
2	サツマイモ	31.9	19	チンゲンサイ	6.1
3	ごぼう	25.8	20	にがうり(ゴーヤ)	6.0
4	小松菜	25.0	21	カブ	5.4
5	生シイタケ	18.6	22	スイートコーン	4.7
6	れんこん	18.1	23	スイカ	4.5
7	アスパラガス	16.8	24	みょうが	4.3
8	にんにく	16.2	25	さやえんどう	3.8
9	枝豆	15.5	26	メロン	3.7
9	ショウガ	15.5	27	そら豆	3.6
11	オクラ	14.2	28	ししとうがらし	2.7
12	山芋	13.6	29	ふぎ	2.6
13	ニラ	12.1	29	さやいんげん	2.6
14	イチゴ	10.5	31	らっきょう	2.5
15	カリフラワー	9.3	31	グリーンピース	2.5
16	春菊	7.1	33	わけぎ	2.1
17	セロリ	6.8	34	ミツバ	1.8

■『ホットペッパーグルメ外食総研』研究員からの解説

需要増加！次に「指定野菜」に昇格しそうな「特定野菜」やもっと食べたい野菜に注目

2026年度から「指定野菜」になるブロッコリー。国（農林水産省）が指定した野菜なのでいわば「国民的野菜」ともいえます。「指定野菜」になると、市場価格が大幅に下がった場合の補助金が手厚くなるため安定供給できるようになり、ブロッコリーはもっと食卓に上る機会が増えそうです。そこで今回、次に「指定野菜」へ昇格しそうな「特定野菜」を調査したところ、「かぼちゃ」「サツマイモ」が1位、2位を占めました。「指定野菜」は特に消費量が多い野菜、いわゆるなじみ深い野菜なので、甘いお菓子からおかずまでアレンジ可能で幅広い料理方法のあるこの二つがトップ2までにランクインしたのは、納得の結果ともいえるでしょう。また「もっと食べたい」という野菜（次ページ）では、全体的に女性の方が割合が高い結果となりましたが、男女とも1位は「とうもろこし」という結果でした。

私たちが普段何気なく食べている野菜はこのような制度で守られていたり、また最近では食べ方も豊富です。次に「指定野菜」に仲間入りしそうな野菜に注目して食事をするのも楽しいかもしれません。



『ホットペッパーグルメ外食総研』研究員 田中 直樹

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2024年4月25日

【アンケート調査概要】

- 調査期間：2024年3月15日（金）～2024年3月16日（土）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：全国20代～60代男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- 有効回答数：1,035件（男性517件、女性518件）

■ 「もっと食べたい」と思っている野菜1位は男女とも「とうもろこし」 女性の割合が高い傾向

「指定野菜」でも「特定野菜」でもないが、「もっと食べたい」と思っている野菜についての調査では、男女で約6ポイントの差があるものの、1位は「とうもろこし」でした。2位以下も、「男性」「女性」とも順位は異なりますが、上位10品目中8品目は同じ野菜がランクインする結果となりました。ランキングの特徴として、どの野菜も全体的に女性の方が割合が高く、野菜の摂取量を意識している傾向がみられました。トップ10のなかで最も大きく差が出たのは「えのき」で約11ポイント女性の方が高くなりました。

男女別：「指定野菜」でも「特定野菜」でもないが、「もっと食べたい」と思っている野菜（菌類・山菜等含む）トップ10

（「男性」n=517、「女性」n=518／複数回答）

▼男性

順位	野菜	%
1	とうもろこし	28.0
2	たけのこ	26.3
3	まいたけ	26.1
4	えのき	20.5
5	大豆	19.9
5	しめじ	19.9
7	エリンギ	19.5
8	ごま	18.4
9	こんにゃく（芋）	16.4
9	京ネギ・九条ネギ	16.4

▼女性

順位	野菜	%
1	とうもろこし	34.2
2	まいたけ	33.8
3	大葉・シソ	32.0
4	えのき	31.1
5	たけのこ	28.6
6	しめじ	27.8
7	エリンギ	27.4
8	ごま	24.9
9	大豆	20.8
9	パプリカ	20.8

※いずれも提示した選択肢（菌類・山菜等含む）：大葉・シソ、空心菜、クレソン、ごま、こんにゃく（芋）、ズッキーニ、ターサイ、高菜、たけのこ、冬瓜、とうみょう、とうもろこし、大豆、菜の花、パセリ、パプリカ、モロヘイヤ、落花生、パクチー、せり、京ネギ・九条ネギ、水ナス、紫キャベツ、えのき、しめじ、まいたけ、エリンギ、ブロッコリースプラウト、タラの芽、ふきのとう、こごみ、うど、ぜんまい、イタリアンパセリ、バジル、ロメインレタス、ビーツ、ルッコラ、トレビス、ミニアスパラガス、ホワイトアスパラガス、ロマネスコ、ペコロス、カイワレダイコン、その他、この中であてはまるものはない
※ランキングからは「この中であてはまるものはない」を除外

2024年4月25日

■ 『ホットペッパーグルメ外食総研』トレンド座談会とは

シーズンごとに“今”はやりの外食トレンドを発表する、リクルートの外食のプロフェッショナル集団による座談会。アンケート調査や、レストランの現場から“生の声”を聞き、「外食のリアル」を語ります。メンバーは、飲食トレンドの数値化・可視化を行う『ホットペッパーグルメ外食総研』の研究者をはじめ、女子トレンド、高級店トレンドなど、さまざまな分野のスペシャリストで構成されます。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>